

川根茶フェアイベントレポート  
その道中の陽～気なこと

あいにく雨が降りしきる午後1時。それでも、奥大井音戯の郷前に設置された特設イベント会場には大きな拍手と歓声が響いていました。ラッキーフジモリさんによる華麗なマジックショーでの一コマです。

4月20日、川根茶の日を記念したイベント「川根茶フェア」が音戯の郷前特設イベント広場において盛大に開催されました。

(川根お茶街道推進協議会主催) ※例年は4月21日が川根茶の日。今年ほうるう年のため20日が川根茶の日となります(下欄参照)。午前10時。大井川鐵道金谷駅。SL川根茶号は川根茶フェア参加者170人を乗せて、会場である千頭駅(音戯の郷)に向かって出発しました。車内では川根茶の無料サービス

が振る舞われ、イベントの雰囲気盛り上げています。

途中、塩郷駅で下車した20人の茶畑ハイキング参加者(事前募集)は、塩郷の吊橋を渡って久野脇地区に向かいました。茶畑の間をぬうように歩きながら、新茶シーズンの到来を肌で感じました。

11時35分、千頭駅に到着した参加者一行は、豪快に鳴り響く赤石太鼓の演奏に迎えられて音戯の郷へ。

時折降りしきる雨が、少し肌寒さを感じさせる日ではありましたが、町内各団体が出店した豚汁の無料サービスや川根茶のもてなしなどが、参加者の心も体もポカポカと温めました。

特設ステージでは、ラッキーフジモリさんによる楽しいマジックショーや、モンゴル出身歌唱家ポジンソンさんによるお茶の葉を

使った草笛演奏と歌のミニコンサート、話楽座の皆さんによる心温まる語りなどの演目が続き、楽しい時間を過ごしました。

また川根茶業組合が実施した闘茶会にも多くの参加者が集まり、茶の銘柄当てに挑戦しました。

「全然当たらない」という声も聞こえてきましたが、それでもその顔から笑顔が消えることはありませんでした。

このあとステージ前では、餅つき大会が行われ、飛び入りで参加したお父さんからお子さんまで、慣れない手つきながらも張り切って餅つきを体験しました。どの方も初めての挑戦でしたが、大きな声を出しながら、周りの人からの歓声も受けながら、元気良く杵を振っていました。

今年の新年シーズンの無事故と好況をお祈りしております。



会場で見かけた楽しげな親子

モンゴル出身歌唱家ポジンソンさんによるミニコンサート

手揉み保存会の皆さんによる手揉み体験も好評でした

豚汁サービスも大人気

ラッキーフジモリさんによる愉快なマジックショー

川根茶の日 (川根お茶街道推進協議会)

川根茶の販売促進とPRのため、立春から数えて七十七夜にあたる4月21日を川根茶の日として制定しました。(平成18年に制定) 立春から数える日といえば八十八夜がおなじみですが、茶農家が最も忙しい時期ということでこれを避け、10日早い4月21日を選びました。(今年ほうるう年のため、4月20日が川根茶の日となります)



力いっぱい杵を振る子ども  
おいしい餅がつきあがりました

闘茶会に挑戦中

川根茶でホットと息

SL川根茶号で行われた「お茶に関するクイズ」は難しいような簡単なような…。問題と答えは川根本町ホームページに掲載していますので、皆さんぜひご覧になってみてくださいね。  
トップページ→もっと見る→課別一覧→企画環境課→「川根茶の日イベント」が行われました

また来年も、おつき合い願います！